

宇都宮市立陽南中学校第2学年生徒質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

県平均と比較し、5ポイント以上の差異が見られる項目を、本校の特長課題ととらえて分析したところ、+5ポイントとなった項目が、23項目、－5ポイントとなった項目が3項目となった。

- 学校の宿題は、自分のためになっていると考えている生徒が多い。
- できるだけ自分ひとりの力でものごとを解決しようとしている生徒が多い。
- 授業では、授業の目標(めあて・ねらい)が示されているとしている生徒が多い。
- 友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意だと考えている生徒が多い。
- 友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる生徒が多い。
- 先生は学習のことについてほめてくれると答えている生徒が多い。
- 授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる生徒が多い。
- 自分はクラスの人役に立っていると思うと答える生徒が多い。
- 早寝、早起きを心がけている生徒が多い。
- 食事のとき、好ききらいをしないで食べている生徒の割合が高い。
- ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがあると考える生徒が多い。
- 自分には、よいところがあると思う生徒が多い。
- 自分の行動や発言に自信をもっている生徒の割合が高い。
- 自然体験の経験をした生徒の割合が高い。
- 家の人と将来のことについて話す機会が多い。
- 家の人からほめてもらいたいことをほめてくれると感じている生徒が多い。
- 家の人に自分の話を聞いてもらっていると感じている生徒が多い。
- 家の人と学習について話す機会が多いと感じている生徒が多い。
- 地域や社会の出来事に関心を示す生徒が多い。
- 国語の授業がよくわかると答える生徒が多い。
- 各教科の学習が好き、と答える生徒の割合が高い。
- 英語のコミュニケーション活動で、積極的に会話をつなげようとする生徒の割合が高い。
- 教科の学習を日常の生活に役立てようとしている生徒の割合が高い。
- 家でテストで間違えた問題について勉強をしている割合が低い。
- 新聞をほとんど読まないと答える生徒が多い。
- 数学の問題を解く時間が足りないと感じた生徒が多い。